

令和2年度 両津クリーンセンター公害防止協議会 次第

日 時 令和3年3月23日(火) 午後2時から
会 場 両津クリーンセンター 1階休憩室

1 開会

2 議題

(1) 令和元年度両津クリーンセンターの受入状況について

(2) 令和元年度周辺土壌ダイオキシン類の測定結果について

(3) 中継施設について

(4) その他

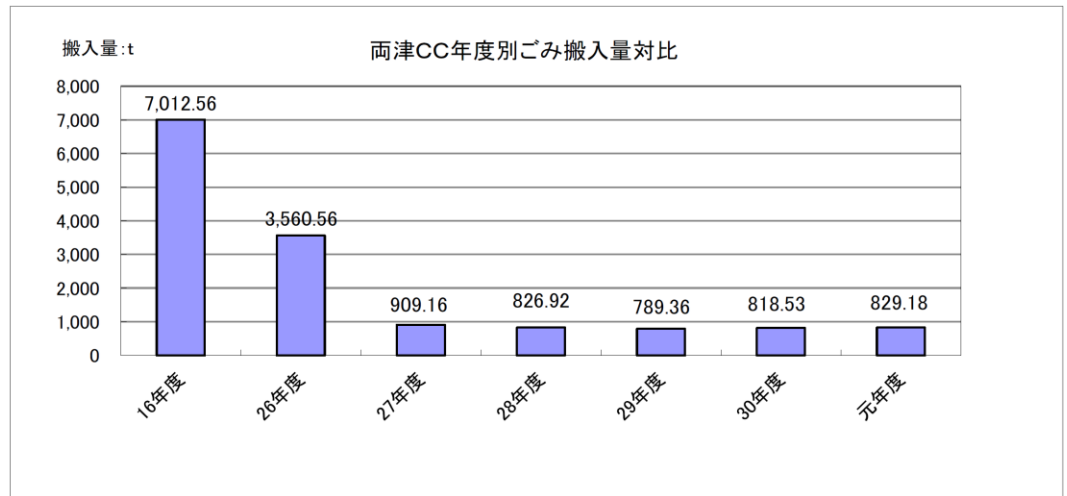
3 閉会

○両津クリーンセンター年度別ごみ搬入量（平成16年度～令和元年度）

単位：t

| 年 度 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 搬入量 | 7,012.56 | 6,833.89 | 6,787.67 | 6,806.63 | 6,624.98 | 6,513.96 | 4,403.36 | 4,779.48 | 3,905.89 | 3,907.14 | 3,560.56 | 909.16 | 826.92 | 789.36 | 818.53 | 829.18 |

両津クリーンセンターは、平成26年度まで施設を稼働、平成27年度以降中継施設となり直接持込みごみの受入れのみとなる。直接持込みされたごみは、佐渡クリーンセンターへ日々運搬されて処理をしている。また、委託収集されたごみは、直接佐渡クリーンセンターに搬入され処理をしている。



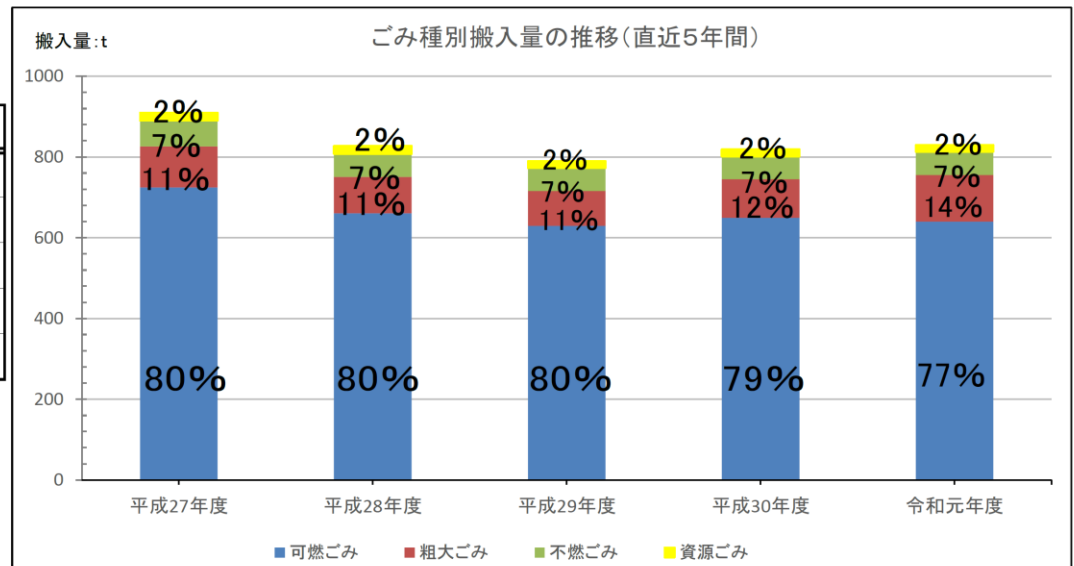
○ごみ種別搬入量の推移（直近5年間）

(単位：t)

| | 可燃ごみ | 粗大ごみ | 不燃ごみ | 資源ごみ | 合計 |
|--------|--------|--------|-------|-------|--------|
| 平成27年度 | 724.56 | 101.33 | 64.23 | 19.04 | 909.16 |
| 平成28年度 | 660.84 | 90.09 | 56.98 | 19.01 | 826.92 |
| 平成29年度 | 629.37 | 86.32 | 57.08 | 16.59 | 789.36 |
| 平成30年度 | 649.31 | 95.86 | 56.53 | 16.83 | 818.53 |
| 令和元年度 | 639.93 | 115.33 | 57.48 | 16.44 | 829.18 |

ごみ搬入総量は、直近5年間で 9%減少している。

(可燃ごみ12%減、粗大ごみ14%増、不燃ごみ11%減、資源ごみ9%減)

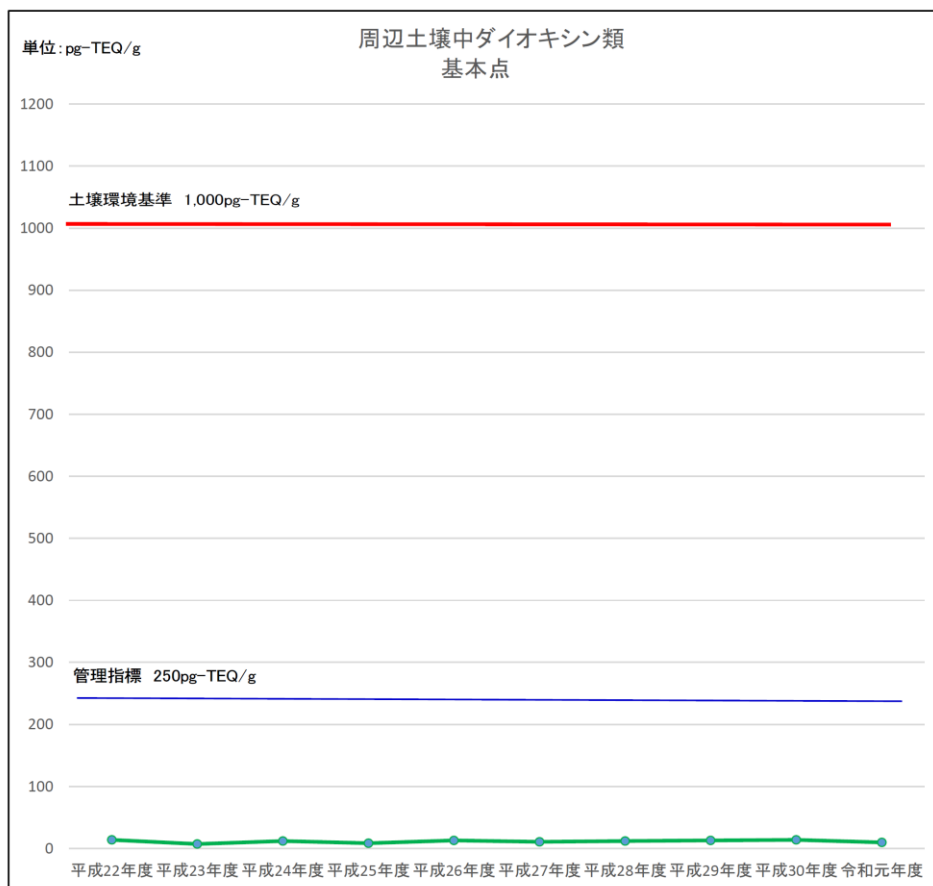


○ 両津クリーンセンター周辺土壌のダイオキシン類測定結果

単位: pg-TEQ/g

| 項目 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|------------|
| 採取日 | H22. 12. 16 | H23. 11. 17 | H24. 11. 15 | H25. 11. 14 | H26. 11. 13 | H27. 10. 16 | H28. 12. 2 | H29. 11. 10 | H30. 11. 21 | R1. 11. 14 |
| 周辺土壌中ダイオキシン類基本点 | 14 | 7.3 | 12 | 8.6 | 13 | 11 | 12 | 13 | 14 | 9.9 |
| 〃 吾潟基本点 | 3.9 | 4.7 | 4.6 | 4.5 | 4.6 | 5.1 | 4.1 | — | — | — |
| 〃 住吉基本点 | 11 | 9.1 | 9.8 | 9.8 | 9.4 | 7.7 | 8.4 | — | — | — |
| 〃 城腰基本点 | 3.1 | 3.2 | 2.8 | 2.5 | 3.1 | 3 | 3.2 | — | — | — |

※平成29年度の公害防止協議会で、周辺土壌のダイオキシン類測定は、基本点の1箇所になりました。



【環境省】 ダイオキシン類による土壌の汚染にかかる環境基準

| 媒体 | 基準値 | 備考 |
|----|------------------|---|
| 土壌 | 1,000pg-TEQ/g 以下 | 環境基準が達成されている場合であって、土壌中のダイオキシン類の量が250pg-TEQ/g 以上【管理指標】の場合には、必要な調査を実施することとする。 |

【解説】

- 1 : pg (ピコグラム) 1兆分の1グラム
- 2 : TEQ 毒性当量=ダイオキシン類の実測濃度に毒性等価係数を乗じて得たもの

環分第 ZGO1900249号
発行 令和元年12月24日

佐渡市長 様

計 量 証 明 書

令和元年11月14日付ご依頼の計量結果は、
下記の通りであったことを証明いたします。



特定計量証明事業
新潟県知事登録第特環1号
認定番号 N-0046-01
一般財団法人 新潟県環境分析センター
本部 新潟県新潟市江南区祖父興野53番地1
〒950-1144 TEL(025)284-6500
FAX(025)284-0022

件 名 : 灰溶融固形化施設等
検査分析業務委託

| | | |
|-------|------|--|
| 環境計量士 | 畠山 宏 | |
|-------|------|--|

採 取 日 : 令和 元年 11月 14日

採 取 者 : 一般財団法人 新潟県環境分析センター

採 取 場 所 : 両津クリーンセンター周辺
(対象施設) 基本点

計量の対象 : 土壌

計量の項目 : ダイオキシン類

計量の方法 : 「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」
(平成21年3月 環境省水・大気環境局土壌環境課)

計量証明の結果 (詳細は2/2ページに示す。)

試料名 : 両津クリーンセンター 基本点 (土壌)

| 計 量 項 目 | | | 計量結果 |
|---------------------------------------|--------------------|------------------|------|
| ダイ オ キ シ ン 類 濃 度 | 実測濃度 | PCDDs (pg/g) | 540 |
| | | PCDFs (pg/g) | 220 |
| | | コプラナー-PCB (pg/g) | 48 |
| 毒性当量 (TEQ) | ダイオキシン類 (pg-TEQ/g) | 9.9 | |

- 備考
1. 毒性等価係数は、WHO-TEF(2006)を適用しております。
 2. 数値の丸めの作業は、最終計算値について実施しています。
 3. 実測濃度中の“ND”は、検出下限未満であることを示します。
 4. 毒性当量は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出した値です。
 5. 毒性当量は、計量法第107条の対象外となります。
 6. 結果については、乾燥固形物当たりの濃度です。